

2015年11月19日

## スバル「IMPREZA SEDAN CONCEPT」を2015年LAオートショーで世界初公開

富士重工業は本日、開催中の2015年LAオートショーにおいて、「IMPREZA SEDAN CONCEPT」を世界初公開しました。



IMPREZA SEDAN CONCEPT

IMPREZA SEDAN CONCEPTは、2014年5月に発表した新中期経営ビジョン「際立とう2020」において、スバルが次世代モデルの第一弾として位置づける、次期インプレッサをイメージしたセダンのデザインコンセプトカーです。スバルのラインアップにおけるエントリーモデルとして、コンパクトなボディサイズ感の中でダイナミックかつソリッドなスバルらしいデザイン要素を大胆に表現しつつ、クラスを超えた質感を融合させることで、インプレッサのみならず、今後のスバルデザイン全体の方向性を提示します。

### 【IMPREZA SEDAN CONCEPTの主な特徴】

フロント、サイド、リヤの各デザインをダイナミックかつソリッドな面構成で繋げ、スバルデザインの特徴の1つである立体的で塊感のあるボディを構築。コンパクトなセダンの要所に躍動感あふれるキャラクターラインを配し、スバルがお客様に提供する価値である「安心と愉しさ」のデザイン表現をCセグメントという限られたボディサイズの中で追求しました。スバル車にとって不可欠な機能性についても、優れた空力性能を確保することで、スタイリングとの融合を実現しています。エクステリアカラーについてはスポーティでエネルギッシュな印象を追求した「ルビーレッドメタリック」を採用するとともに、高い質感を持つグロスブラックと組み合わせました。

#### ● フロント

「ワイド&ロー」スタンスにより、スバルならではのスポーティな印象を与えるとともに、スバルらしさの象徴であるヘキサゴングリルからシャープなホークアイヘッドランプまでを一体感を持って立体的に構築。フロントからサイドを経由してリヤまで繋がり、各部のデザインが一つの塊となる起点としての役割をフロントフェイスが果たしています。

- **サイド**

フロントフェンダーからドアパネル・リヤショルダーまでを繋ぐ抑揚豊かなキャラクターラインと、リヤに向けて跳ね上がるドアパネル下部のキャラクターラインにより、ソリッドなボディ表面に躍動感を持たせました。力強く張り出すフェンダーフレアーはスバルAWDがもたらす信頼感を表現しています。

- **リヤ**

ヘッドランプと共通のモチーフを持ち、かつワイドなリヤコンビネーションランプが表現する、フロント同様の「ワイド&ロー」スタンスと、絞り込んだキャビンからトランクリッドに至るまでの流麗なシルエットが、セダンスタイルにスポーティな印象を付加しています。

**【主な仕様】**

ボディサイズ(全長 X 全幅 X 全高) : 4,555 X 1,880 X 1,453 mm

ホイールベース : 2,670 mm

タイヤサイズ : 235/40 R19

乗車定員 : 5名